

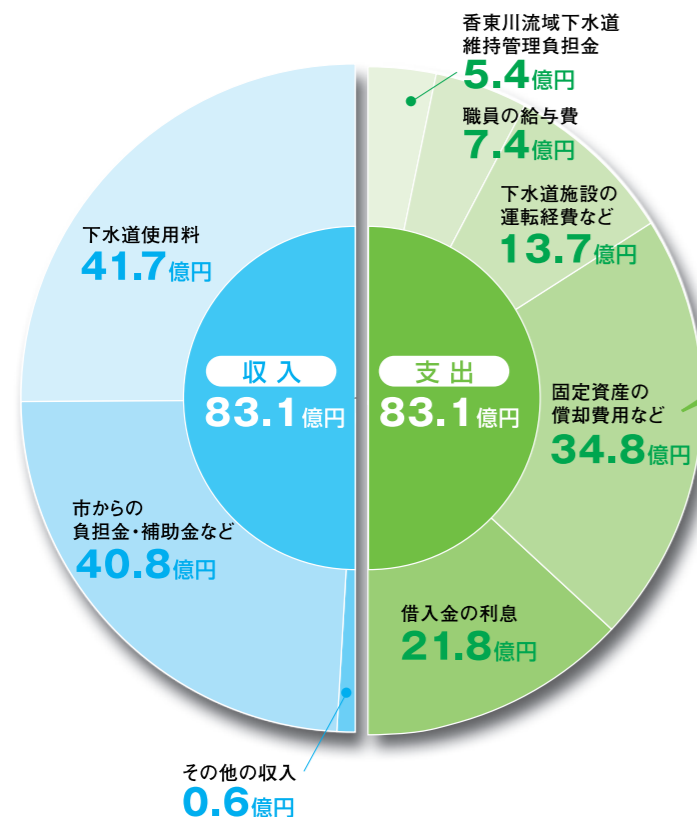


平成23年度 高松市下水道事業会計

予算は**178億1千万円**

収益的収支

浸水から街を守り、汚水をきれいにして自然にもどすために必要な経費と財源のことです。



将来にわたる設備投資費用の確保

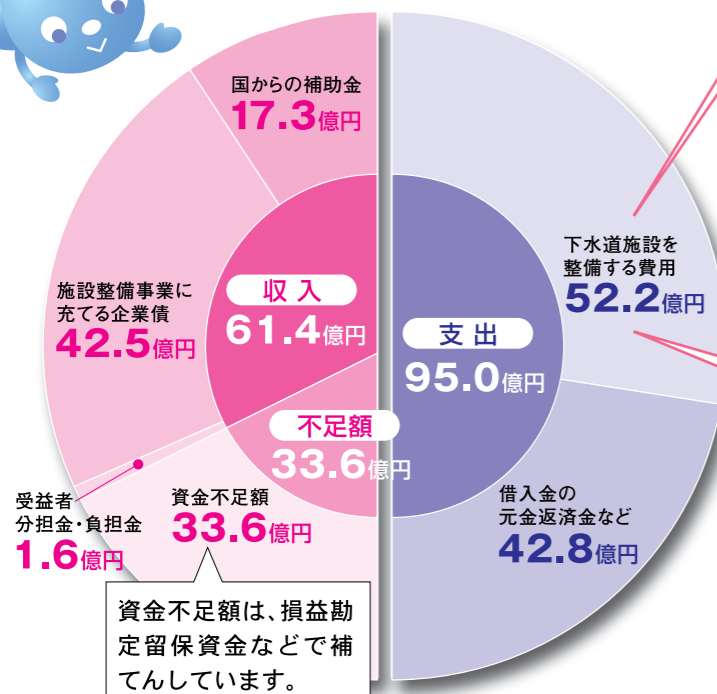
下水道事業は、汚水処理などを継続的に行う事業であるため、施設の維持管理が必要となります。下水道施設の改修や更新に必要な費用を確保するため、企業会計方式を採用し、減価償却の考え方に基づく投資費用の確保に努めています。

下水道施設の整備

公共用水域の水質を保全するための污水管の整備のほか、浸水被害を軽減・解消するための雨水管きょや雨水ポンプ場の整備を行っています。また、下水道施設の耐震診断や改築工事などを行っています。

資本的収支

下水道施設を整備・更新するために必要な経費と財源のことです。



中心市街地の浸水対策

降雨時の浸水被害を軽減・解消するため、中部バイパス第2幹線や第3幹線のほか、福岡ポンプ場の整備に取り組んでいます



【中部バイパス第2幹線工事(1工区)】平成23年6月末 完成予定 玉藻町～福岡町の約1,300m 仕上がり内径 2m60cm

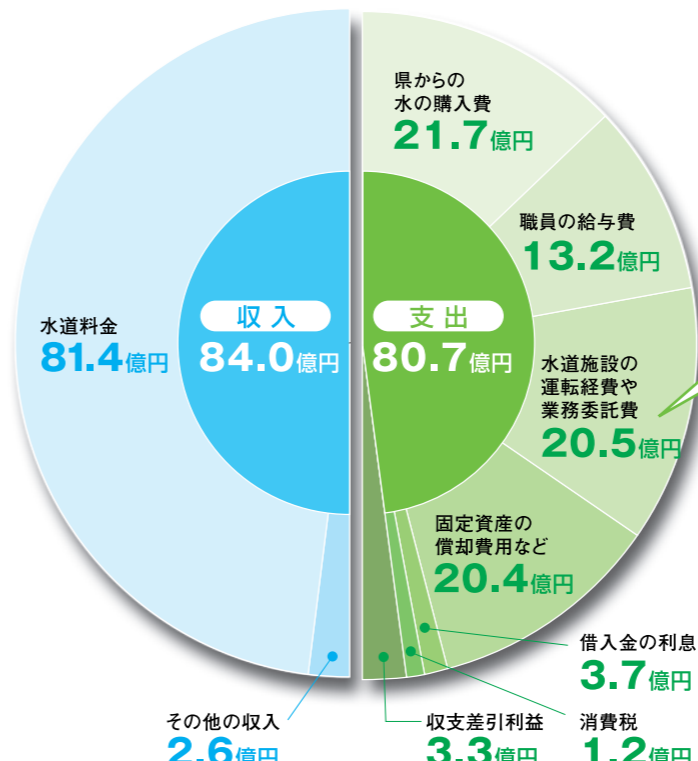


平成23年度 高松市水道事業会計

予算は**112億3千万円**

収益的収支

水道水をつくり、お客さまにお届けするために必要な経費と財源のことです。



鉛管解消対策事業

平成10年度から鉛製給水管の引替工事助成制度を設け、お客さまが積極的に取替ができるように制度の充実を進めています。また、漏水修繕工事や配水管布設替工事などの機会にあわせて鉛管解消に努めています。

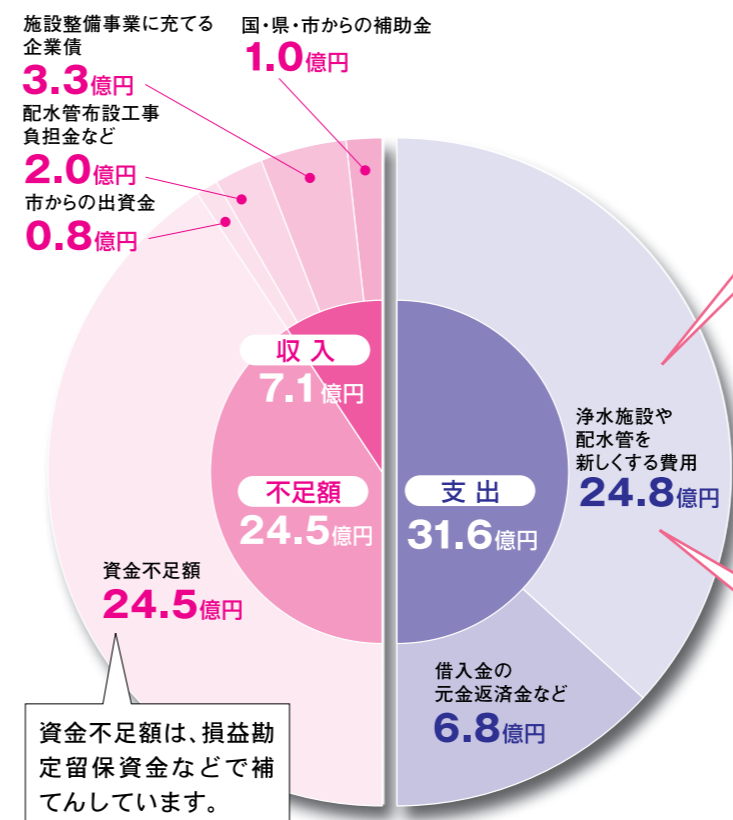


栂川ダム建設負担、浅野浄水場新管理棟建設

建設中の「栂川ダム」は、平成29年度末の完成を目指し工事が進められています。「栂川ダム」の水は、浅野浄水場、後川浄水場で水道水に生まれ変わり、市内へ給水されます。このため、処理能力の拡大、老朽化に伴う対策として、浅野浄水場の整備を行っていますが、今年度は新管理棟を建設します。

資本的収支

水道施設を整備・更新するために必要な経費と財源のことです。



奥の池と周辺地下水の利用

奥の池と周辺の地下水を利用するため、木太鬼無線道路改良工事にあわせて、奥の池から御殿浄水場まで、導水管の布設工事を進めています。今後は、配水池の建設も予定しています。

平成23年度 高松市上・下水道事業会計予算

平成23年度の高松市上下水道局の事業に必要な予算をお知らせします。上下水道事業の使命である、安定した給水と快適な生活環境を守るために、水源の確保や施設の整備などの事業を継続して行っています。